



立正大学 地域連携メールニュース Vol.6(2022年6月1日発行)

立正大学研究推進・地域連携センター <https://www.ris.ac.jp/rpra/>
立正大学研究推進・地域連携ポータル <http://kumacom.net/TJUP/>
立正大学研究推進・地域連携Facebook <https://bit.ly/3kMEezn>
立正大学地域連携コーディネーターズBLOG <https://onl.tw/pGHqvKQ>



転送・転載歓迎

地域連携コーディネータの小林真は深谷市議会議員補欠選挙にてトップ当選しました。これにより、2月より新たに熊谷市民活動支援センターメンバーの生越(おごせ)康治が着任しました。今回に限り品川・熊谷3人の地域連携コーディネーターからお届けします。

●目次

【1. トピックス】

①全学共通

1. 地域連携・産学連携ニュースブックレット版Vol.1を配布中
2. 「立正大学ミライ会議」新実行委員で継続開催 2月28日に第4回を開催
3. aini(アイニ:株ガイアックス)との連携検討開始
4. 2/27 第4回SDGsセミナー オンラインにて開催

②熊谷キャンパス

1. 日本酒プロジェクト進行中
2. 「NAOZANE」1月号が立正大生の活動を紹介
3. FMクマガヤにラグビー部学生出演
4. 熊谷キャンパス学生が制作に参加のウォーキングマップ完成間近
5. 「子ども大学くまがや・なめがわ」が開催
6. 熊谷まちなか再生プラットフォーム展開中
7. 「埼玉県デジタル田園都市構想の推進に向けたキックオフ・ミーティング」開催
8. COG(チャレンジオープンガバナンス)2021成果提出
9. UDC(アーバンデータチャレンジ)、インフラデータチャレンジに参加。特別賞受賞

③品川キャンパス

1. 品川区環境市民会議でワークショップ開催
2. ボランティアセンター主催LINE登録者募集イベントを地域連携課がサポート

【2. お知らせ】

1. 地理空間情報の活用に関する会議
 2. 立正大学ブランド日本酒「立咲」販売中 日本酒プロジェクト準備中
 3. 谷津田米ブランド日本酒「谷津の祈り」販売中 今年もお米が取れました
 4. 比企丘陵で農福連携圃場(立正大学谷津田イノベーション研究会)が展開中
-

=====

【1. トピックス】

①全学共通

◇1. 地域連携・産学連携ニュースブックレット版Vol.1を配布中

地域連携・産学連携コーディネーターによる今までの活動を記録した「地域連携・産学連携ニュース ブックレット版Vol.1」を配布中です。

▼PDFデータはこちら↓)

<https://bit.ly/3r9t6j4>

◇2. 「立正大学ミライ会議」新しい実行委員加入で継続開催

昨年から開催している「立正大学ミライ会議」は新しい学生が加入し、新体制で運営しています。第4回が2月28日(月)に、キャリアを語っていただくゲスト2名、参加者計12名でオンライン開催されました。今回は、文学部の石山准教授にゲストとしてご登壇いただきました。

▼詳しくは↓)

<https://www.instagram.com/risshomiraikaigi/?hl=ja>

▼キャリア等お話しして下さるゲストを募集中↓)

下記、Googleフォームにご記入ください。実行委員よりご連絡させていただきます。

<https://forms.gle/FzCGpJmgYDj9fqmY6>

◇3. aini(アイニ)との連携検討開始

シェアリングエコノミー事業等を展開する(株)ガイアックスが提供する体験プラットフォーム「aini: アイニ」より事業提案がありました。アイニを活用した、大学(教授、職員)、学生が、地域と関わる機会を増やし、学生のさらなる主体性を伸ばす機会として今後の連携を検討しています。

▼詳細はこちら↓)

<https://helloaini.com/>

◇4. 2/27 第4回SDGsセミナー オンラインにて開催

2/27 第4回SDGsセミナー「共に創ろう持続可能な社会 第4弾～ボトムアップで変革を～」にて小澤康司教授(心理学部)、後藤真太郎教授(地球環境科学部)、2名の環境システム学科1年生が登壇しました。学生の発表内容は発表内容は以下の通り。 島田駿君:エコルとごしに開設日におけるSDGsゲームの構想について 吉中洸貴君:こみゆにていーぷらざ八潮でのワークショップで議論したSDGs教育内容 について

②熊谷キャンパス

◇1. 日本酒プロジェクト進行中

2013年にスタートした熊谷市唯一の酒蔵・権田酒造との連携日本酒プロジェクト。今年度は前年度商品開発した立正ブランド酒「立咲(りっしょう)」の開校150周年記念ギフトセットを制作しています。

デザインアドバイザーは、前年に引き続き後藤新吾さん(株うえぶ屋)が担当。年度中に発売されます。

▼詳しくは↓)「立咲」発売時の「熊谷経済新聞」記事

<https://kumagaya.keizai.biz/headline/865/>

◇2. 「NAOZANE」1月号が立正大生の活動を紹介

熊谷市内全戸配布のフリーペーパー「NAOZANE」(発行:株ピーアイピー)1月号の巻頭特集「Your 2022, 熊谷 2022」に、本学学生の市民活動支援センターを中心とした活動が紹介されました。執筆担当は小林元コーディネーター。

▼詳しくは↓) 同誌バックナンバーのページにpdfあります

<https://chuco.co.jp/modules/special/index.php?cid=123>

◇3. FMクマガヤにラグビー部学生出演

1月7日(金)のFMクマガヤ「俄然風太のカマっていいとも!」に「冬休み特別企画」として本学ラグビー部の堰見悠吾選手が生出演しました。

▼詳しくは↓)

https://twitter.com/gazen_fu_ta1981/status/1479037964206632962

◇4. 熊谷キャンパス学生が制作に参加のウォーキングマップ完成間近

地球環境学部の学生4人が「熊谷学生部」として制作参加している「熊谷健康づくりウォーキングクラブ」の「熊谷ウォーキングマップ21」が完成間近です。

当事業は熊谷市民公益活動促進事業「はじめの一步 チャレンジ助成金」を活用。冊子1000部が公共施設などに設置されます。

▼詳しくは↓)熊谷市「はじめの一步助成金」サイト

<https://www.city.kumagaya.lg.jp/kurashi/shimin/shimin/sien/hajimenoippo.html>

◇5. 「子ども大学くまがや・なめがわ」が開催

12月18日に「子ども大学くまがや・なめがわ」が開催されました。実施講義は「ドローンでプログラミングを学ぼう」(地球環境科学部青木和昭講師)と「火山が噴火でつくるガラスを観察しよう」(地球環境科学部下岡順直准教授)。専門的で体験型の講義で、参加した子どもたちの満足の声が寄せられています。

▼詳しくは↓)

<https://bit.ly/3psGGhp>

◇6. 熊谷まちなか再生プラットフォーム展開中

「公・民・学」連携で「暑さ対策日本一の街において人と環境にやさしいまちとくらし」を実現するプラットフォーム。本学からデータサイエンス学部の大井達雄教授が参加しています。「星川きらきらプロジェクト」「くまちえスクール」に続き、若年層を対象とした駅前活性化アンケートを実施。本学学生にもポータルサイトを通じて回答が呼びかけられました。

▼詳しくは↓)

<https://kumagayasaisei.wixsite.com/mysite>

◇7. 「埼玉県デジタル田園都市構想の推進に向けたキックオフ・ミーティング」開催

2月22日、本庄市の本庄早稲田国際リサーチパークで「埼玉県デジタル田園都市構想の推進に向けたキックオフ・ミーティング」開催されました。

当センター長後藤真太郎教授(環境情報分野/環境データサイエンス)が登壇。比企丘陵の日本・世界農業遺産の管理に向けた環境データサイエンスの利用事例、環境保全型農業用スマート農業、地力をベースにした農業などへの適用事例、広域POSの多様な分野への応用などを紹介しました。

▼詳しくは↓)

<https://bit.ly/3tl5Qj0>

◇8. COG成果提出

ICTで社会課題を解決する手法につき「情報システムの構築と応用」の中で のワークショップ(アイデアソン、ハッカソン)を通して実践的に習得する 授業成果を[チャレンジ!!オープンガバナンス2021](#)に挑戦し、ラグビーロード の活性化、熱中症対策に対するアイデアをまとめ応募しました。

◇9. UDC、インフラデータチャレンジに参加。特別賞受賞

UDC、[土木学会インフラデータチャレンジ2021](#)に応募した以下の2作品①被災状況早期検知システム、②3D温度マップで熱中症防止のうち、①が特別賞を 受賞したとの連絡がありました。共にドローンのデータを用いGISを巧みに駆使した作品であり、卒業研究が評価されたこととなります。

③品川キャンパス

◇1. 品川区環境市民会議でワークショップ開催

学生も参加している、12月18日(土)に開催された第3回環境活動推進会議では、前回と同様のグループに分かれ、より具体的な内容について検討しました。

▼詳しくは↓)

<https://bit.ly/33w3qO4>

◇2. ボランティアセンター主催LINE登録者募集イベントを地域連携課がサポート

今年度から全学化されたボランティアセンター主催のLINE登録者募集イベントを地域連携課がサポートし、印刷された地域産学連携ニュースブックレット版の配布も行いました。

▼詳しくは↓)

<https://bit.ly/3rayi6k>

=====

【2. お知らせ】

◇1. 地理空間情報の活用に関する会議

令和2年12月24日 令和3年度 地理空間情報の活用等に関する関東地域連携協議会
(会長 後藤真太郎教授)にてDX時代の社会課題を解決する地理情報とデータ戦略 を取りま
とめました。

◇2. 立正大学ブランド日本酒「立咲」販売中

▼詳しくは↓)「熊谷経済新聞」(第1回発信力UPセミナー協カメディア)

<https://kumagaya.keizai.biz/headline/865/>

◇3. 谷津田米ブランド日本酒「谷津の祈り」販売中

権田酒造ネットショップ

<https://www.sake-japanese.shop/product/product-912>

◇4. 比企丘陵の日本・世界農業遺産申請事業進行中

▼比企丘陵農業遺産推進協議会ページ: http://hiki-kyuryo.jp/wp_hiki/

▼谷津田イノベーション研究会－比企丘陵の谷津沼農業を中心とする風土共創の文化
を日本・世界農業遺産に－ Facebook公開グループ

<https://www.facebook.com/groups/819540268226596>

=====

◆◆◆アンケートにご協力ください◆◆◆

アンケート: <https://bit.ly/3tsyXAL>

■■■■■■■

問い合わせ先

このメールニュースへのお問い合わせ・停止依頼は下記あてにお願いします。

連絡先: 立正大学研究推進・地域連携課<shien@ris.ac.jp>

●●●

◆発行責任者 立正大学研究推進・地域連携センター センター長 後藤真太郎

◆編集 地域連携コーディネーター 品川・横田明菜 熊谷・小林 真/生越康治

本ニュースレターは、研究推進・地域連携センターが管理人となって、TJUPを含む立正大学が
関連する研究、地域連携事業の状況を発信する目的で教職員に配信しています。
記事掲載をご希望の教職員におかれましては、内容(200文字くらい)をメールで地域連携センター
へご連絡ください。編集会議を経て掲載させていただきます。

また、本ニュースレターの配信を希望されない場合、トップに<配信不要(メールアドレスも)>と

記載の上連絡先迄連絡をお願いします。

